

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	廃棄物不法投棄防止対策事業	4-11
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	市民生活部ごみ対策課	直通電話	72-3126
担当部長	川又 和雄	担当課長	藤岡 修一
		担当者	吉田 恵

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	ごみの不法投棄多発地帯へののぼり、看板等の設置により不法投棄の抑止を図る。		
(2)事業開始年度	平成18年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4 豊かな自然を守り育てる	
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現	
	施策項目(小)	不法投棄防止対策における連携強化	
	施策コード	40303	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	不法投棄の防止
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	家電製品、自動車部品、家具などの不法投棄を抑止する。 不法投棄を発見した場合原因者の特定を行なう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	石狩地域不法処理対策戦略会議での情報交換、石狩支庁との合同でのパトロールの実施。 道路管理者による市道の巡回パトロール。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	町内会等との連携、パトロール、不法投棄多発地帯へののぼり、看板等を設置する。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	531	498	295	300
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	4,316	4,143	4,486	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	4,847	4,641	4,781	
事務に従事した正職員延べ人数	0.50	0.50	0.50	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)																
区分	H17				H18				H19				H20予算			
	市補助金等(A)															
入	計(B)	0	0	0	0											
	(A/B)															
出	計					0	0	0	0							

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
のぼり設置数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	90	100	95	
	達成率	-	-	-	
のぼり設置地区数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	8	9	9	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
不法投棄件数	目標値	0	0	0	0
	実績値	138	98	119	
	達成率	-	-	-	
原因者特定件数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	23	20	13	
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに 関連があるか
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	
(2) 効率性			イ 成果 事業の成果は目標を達成している か
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今 の事業内容は適当か
(3) 公平性			
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	(1)~(4)の評価ポイント合計 総合評価の参考にしてください。
		7~11 A or B	
		12~15 B or C	
		16~21 D or E	
		12	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	定期的なパトロール及び、不法投棄防止の看板やのぼりの設置は、早期の発見と対策を可能とすると共に、一定の抑止効果がある。	
(2) 今後の方向性・課題		今後も、不法投棄撲滅に向け啓蒙・啓発活動はもとより、看板・のぼり等を設置し不法投棄防止に努める。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	件数の増、原因者特定件数が減少している。不法投棄防止PRやパトロール等に努めるといった対策しかなく、これといった特効薬がないというのが現状である。	
(2) 今後の方向性・課題		不法投棄原因者の特定に最大限に努めるなど、監視体制の強化や不法投棄されない環境づくりが課題である。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長 (もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		